

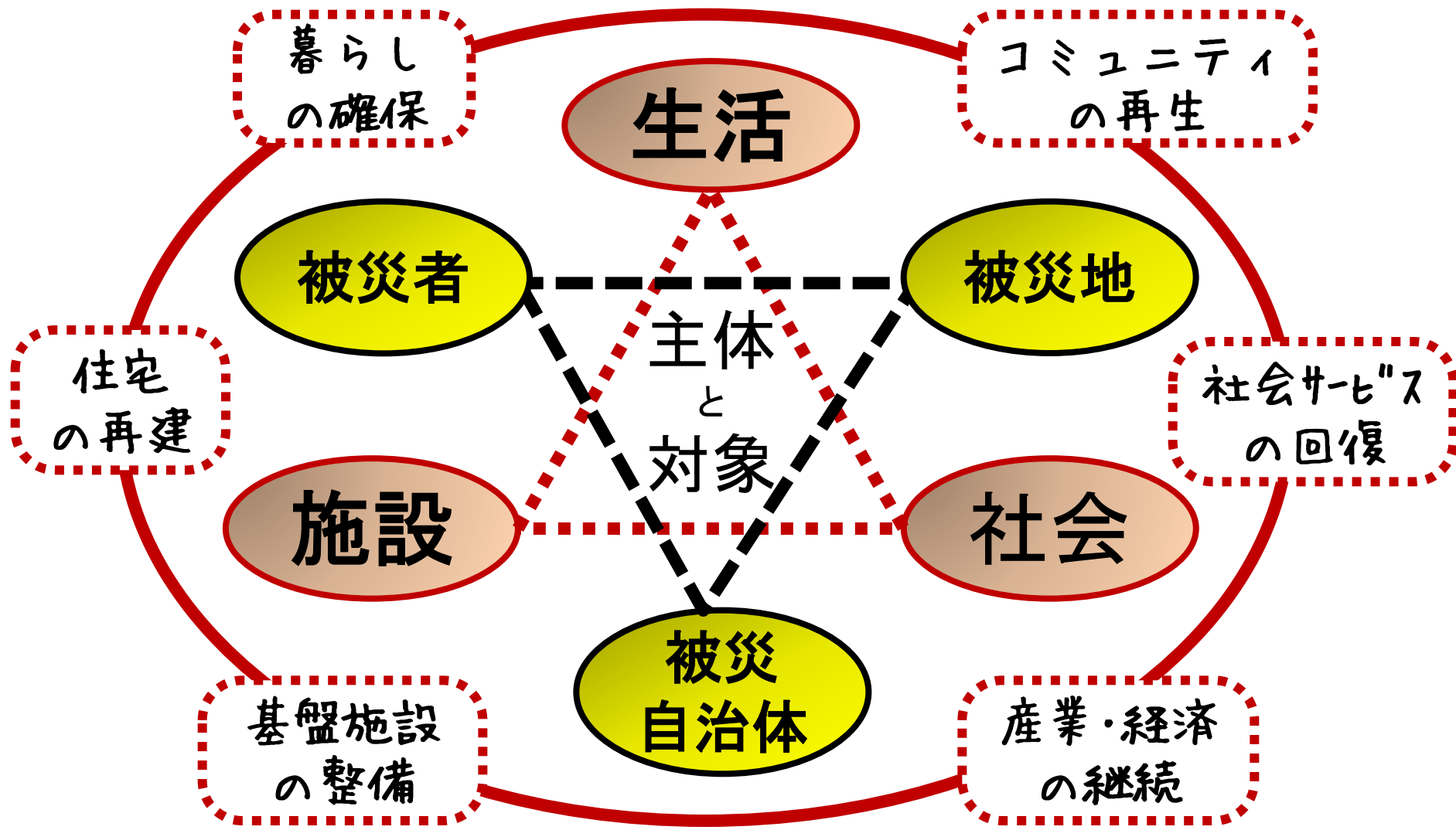
# 日本災害復興学会 の概要と主な活動

2016年1月9日

学会長・明治大学特任教授  
中林一樹

# 日本復興学会の設立

- 阪神・淡路大震災でも新潟県中越地震でも、予防・対応・復興の対策として、最も長い期間と多大な費用を要する取り組みが「災害復興」であるにも拘らず、災害復興の恒久法がないのはおかしい。
- 「復興基本法」が必要、どうあるべきか？
- 学会設立時期：2007年2月
- 学会員数：500名超（2015年10月）



災害復興とは、被災された人々が生活を再建し、被災した地域社会の再生と、集落や市街地の安全化によって再度被災を軽減し、被災自治体が被災者と協働して取り組む地域再生と持続的発展を目指す取り組みです。

このような災害復興の理念のもと、学術としての災害復興学の確立と、被災体験の継承と被災地支援の交流をはかり、被災者と被災地の再起に資することを目指します。

# 日本災害復興学会

## 学会設立の目的（会則第2条）

災害復興学の確立と研究の向上に努めるとともに、被災体験の継承・被災地支援の交流をはかり、被災地の再建、被災者の再起に資することを目的とする

## 役員体制

- ・会長
- ・副会長
- ・総務理事
- ・理事
- ・支部長
- ・監事
- ・特別顧問
- ・顧問

## 会 員

- ・正会員
- ・学生会員
- ・購読会員
- ・賛助会員

## 学会の事業

- (1) 災害復興に関する学術的調査研究
- (2) 被災地・被災者の支援、交流
- (3) 研究集会及び講演会の開催
- (4) 研究の奨励及び研究業績の表彰
- (5) 機関誌・その他の刊行物の発行
- (6) 災害復興学の普及・教育の推進
- (7) その他本学会の目的達成に必要な事業



## 学会事務局

・関西学院大学復興法制度研究所内

## 研究会 活動

- (1) 復興法制度研究会
- (2) 復興デザイン研究会
- (3) 災害報道研究会

## 研究グループ 活動

- ・研究テーマを設定し、会員一人以上を含むグループでの調査研究活動

## 年次大会 活動

- (1) 大会実行委員会  
\*「講演論文集」編集刊行

## 委員会 活動

- (1) 企画委員会
  - ①「復興とは何か」委員会
  - ② 関東ブロック学術推進委員会
- (2) 広報委員会
- (3) 学会誌編集委員会
  - ① 学会誌「復興」担当部会
  - ② 学術論文集(審査論文)担当部会

## 被災地・被災者支援 活動

- (1) 復興支援委員会

| 学会活動のための組織体制 |           |               | これまでの主な学会活動   |
|--------------|-----------|---------------|---|
| 研究会          | 復興法制度研究会  |               | 災害復興基本法・復興交付金試案発表(2009)<br>公開セミナー「阪神・淡路大震災の教訓からみた東日本大震災」(2015)<br>連続研究会「国家緊急鍵を考える」(4回:2015)   |
|              | 復興デザイン研究会 |               | ニュースレター 1~12号   |
|              | 災害報道研究会   |               | 公開研究会「首都直下地震にどう備えるかー地域の現状・メディアの役割」  |
| 研究グループ       |           |               | 東日本大震災復興支援研究会(東京・関西)、公開セミナー(6回)   |
| 学会年次大会       |           |               | 2013:関西大学 2012:福島大学 2011:明治大学 2010:神戸大学<br>2009:長岡技術大学 2008:東京大学、関西学院大学   |
| 委員会          | 企画委員会     | 関東ブロック学術推進委員会 | 2015口永良部島避難調査・公開シンポ「噴火災害時の被災地支援を模索する」   |
|              |           | 「復興とは何か」委員会   | 2009~2010 延べ14回の公開研究会を開催  |
|              | 広報委員会     |               | 現地研修会: 三宅島2010 奥尻島2012・2013 新地町2014   |
|              | 学会誌編集委員会  | 学会誌           | 「復興」通巻13号   |
|              |           | 学術論文集         | 学術論文集(Web) 通巻7号   |
| 被災地支援活動      | 復興支援委員会   |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>* 被災地で被災者と語る「車座トーク」<br/>岩手・宮城内陸地震: 栗駒耕英・花山地区(宮城)2008<br/>新燃岳: 都城西岳地区・高原町(宮崎)2011<br/>※東日本大震災については次頁に記載</li> <li>* 被災者支援集会: 栗駒耕英・花山地区(宮城)2009</li> <li>* 「人材バンク」の開設: 岩手・宮城内陸地震2009</li> <li>* シンポジウムの開催: 東京都2009</li> <li>* 「被災したときに~生活再建の手引き」作成・配付<br/>岩手・宮城内陸地震2009<br/>山口県防府市・兵庫県佐用町豪雨災害2009<br/>東日本大震災2011・2012<br/>広島市・丹波市豪雨水害2014<br/>北関東東北水害(ポルトガル語判作成)2015</li> </ul> |
| 共催 後援        |           |               | 全国被災者交流集会(2010~毎年) 鳥取県西部地震10年目フォーラム 他   |

# 東日本大震災への主な復興支援活動

復興支援公募研究

## ■東日本大震災被災地・被災者支援セミナー&相談会&音楽会開催事業

|           |     |  |
|-----------|-----|--|
| 予算<br>63万 | 開催日 | 2012年11月24日～25日  |
|           | 場所  | 宮城県亶理郡亶理町 高音寺本堂 宮前創作センター   |
|           | 内容  | 被災者、自治体関係者らとともに復興まちづくりや町の今後について考えるセミナーと住民対象の相談会を開催。併せて阪神・淡路大震災被災者のソプラノ歌手による「童謡サロン」を開く。 |

## ■みなし仮設住宅制度研究シンポジウム

|           |     |                                |
|-----------|-----|--------------------------------|
| 予算<br>40万 | 開催日 | 2012年10月12日                    |
|           | 場所  | 宮城県仙台市 仙台市市民活動サポートセンター         |
|           | 内容  | 「みなし仮設住宅」に内在する課題の検証と今後の方向性を探る。 |

## ■住宅復興・居住地再生のための「定住」と「移動」のあり方を考える研究セミナー

|           |     |  |
|-----------|-----|--|
| 予算<br>70万 | 開催日 | 2013年1月27日   |
|           | 場所  | 東北大学片平キャンパス・ギャラリートーチク  |
|           | 内容  | 東日本大震災の住宅復興、居住地再生を進める上で、自治体関係者や支援者に役立つ情報を発信。発信媒体として東日本大震災復興・後方支援フリーペーパー「Antenna」を発行。それらの情報発信や研究の成果を総括の場として公開セミナーを開催する。 |

## ◆夏の東北「車座トーク」キャラバン

|    |     |   |
|----|-----|---|
| 期日 | 開催日 | 2011年8月8日～10日                                 |
|    | 場所  | ①車座トークin仙台(東北大学)②in遠野(遠野市民センター)③in郡山(ビッグパレット) |

## ◆車座トーク@気仙沼

|    |     |                        |
|----|-----|------------------------|
| 期日 | 開催日 | 2012年9月7日              |
|    | 場所  | 一般社団法人 気仙沼復興協会(KRA)事務局 |

## ◆車座トーク@七ヶ浜町(2回)

|    |     |                         |
|----|-----|-------------------------|
| 期日 | 開催日 | ①2013年12月2日 ②2014年2月17日 |
|    | 場所  | 汐見台第二公民分館               |

## ◆現地研修会(新地町)・若手交流会(東北大学)

|    |     |                                     |
|----|-----|-------------------------------------|
| 期日 | 開催日 | (交流会)2014年7月18日 (研修会)2014年7月19-20日、 |
|    | 場所  | (交流会)東北大学 (研修会)新地町役場・町内             |

被災地訪問

# これからの学会活動の方向(私見)

## 「災害復興」と「事前復興」の二元復興の推進

### (1) 既往災害の“復興支援”の活動

- 東日本大震災大震災
- 口之永良部島噴火災害

### (2) 巨大災害を迎え撃つ“事前復興”の活動

- 南海トラフ巨大地震／首都直下地震の事前復興
- “事前復興”とは、「被害想定に基づいて復興ビジョン・復興施策の立案・復興プロセスの手順を準備しておくとともに、その訓練を通して事前に実施できる取り組みを実践していくための研究と活動」